

第 271 回月例情報市場

2026.8.19 ふれあい福祉センター4 階会議室

司会:理事 高沢氏

第 271 回情報市場が開催され、ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク(支援ネット)の理事である高沢氏が司会を務めました。参加者は 7 名で、それぞれが自己紹介を行い、活動内容や課題を共有しました。

活動紹介・課題の共有

制服リユース セカンドぼたん

- ・ 公立中学校(東北中)の体操服が薄地素材に変更され、旧素材(厚地)が求められている。新素材の体操服は冬物 1 セットで 5,000~7,000 円程度と高額化。
- ・ アップサイクルに取り組む人物と出会い、旧素材を使った「Re:ステッチ」洋裁の講座を始めた。みらいハッケンも使えるようになった。
- ・ 洋裁教室の廃業が増え、裾上げ等を担う人材が減少していることも課題として共有。
- ・ 告知は現在、主催者の公式 LINE と Instagram で実施。会場はターミナル51 施設内
- ・ 定期開催のスケジュールが決まれば、まとめて告知できると参加しやすい。

長野市災害ボランティア委員会の活動

- ・ 熊本地震への募金活動を実施中。
- ・ 大槌山林火災:NPO 法人キリキリ国(森林整備・自然体験・木工活動)へ先週支援金を届けた。大槌町は東日本大震災時からの縁がある地域。
- ・ 千葉豪雨(大網白里市):床上・床下浸水が数百件。高速道路無料化後に全国からのボランティア募集が始まる見込みで、委員会としても派遣を検討中。

長野県地域生活定着支援センター・BBS 会

- ・ 累犯セミナー(黄色チラシ):11月16日、都内で対面開催予定(コロナ以降久々の対面)。長野保護観察所・長野刑務所による報告、立命館大学・森下教授による講演を予定。FAX・QRコードで申し込み可。
- ・ 長野地区 BBS 会(ビッグブラザーズアンドシスターズ):約10年の休会后、2年前に再立ち上げ。今年度で本格活動2年目。学生会員24名(長野大学中心)、社会人会員4名。年齢制限なし。Instagramで情報発信中。活動対象は「生きづらさを抱える子ども・若者」に拡大。児童養護施設への月1回の訪問活動等を実施。
- ・ 参加者から「入会のハードルが高く感じられる」との指摘あり。大澤氏はハードルを下げる取り組みを検討しあい。

市営住宅コミュニティガーデン

- ・ 市営住宅(約50軒)で今年からコミュニティガーデンと月1回のお茶会を開始。準備段階。
- ・ 土台(スペース・草刈り体制)は整っているが、活動の認知・参加者拡大が課題。
- ・ デジタル対応が困難な高齢者が多く、ホームページ申し込みが必須の情報にアクセスできない問題がある。
- ・ コロナ以降、月1回の定例自治会が廃止され、コミュニケーション機会が減少。個人情報保護の観点から新入居者への声かけも難しい状況。
- ・ 外国籍住民が多く、植栽の好みや認識の違いも課題として挙げた。
- ・ お茶会は参加費200円で実施。最初は約10人参加したが、顔見知り以外の参加が進まない。
- ・ 参加者からの提案・アドバイス:
- ・ 花壇の傍で飲めるお茶会(ベンチ・テント設置)など、集会所以外の場での交流を試みる。
- ・ 自由に植えられる区画を設けて個人の関与を促す。
- ・ 野菜(ミニトマト等)を植えることで関心を引きやすくなる可能性。
- ・ 区画に目印(風車など)をつけてエリアを明示し、トラブル防止と宣伝効果を兼ねる。
- ・ 市民新聞への掲載で認知度向上を図る。
- ・ 自治会の活動として承認を得ることで予算(苗・道具代等)を確保できる可能性。自治会の活動費をいただいているが足りない。

- 支援ネットの「ささえあい応援金」(来年 6 月、応募は 4 月から)や社協の助成金を活用できる可能性あり。
- 社協グリーンクラブや畑をやっているボランティアから苗・種を入手できる場合がある。

物品提供情報(事務局)

- 冬物シングルシーツ・肌掛け・布団(新古品)の提供あり。
- 雪かき用スコップ 4 本の提供あり。必要な方は事務局へ連絡。

雪かき用スコップ 4つ



冬用肌掛け・シーツ等 5 点



物品募集情報(定着支援支援センターさんより)

- テレビ、炊飯器、クリアケース、衣類ケース等を募集中。新生活を始める方への支援用。

ご提供いただける方は、支援ネット事務局までメールでご連絡ください。

次回案内

- 9 月 16 日(水)19 時から(第 3 水曜日)